

以視其形規之概。今又由斯書以悟其運用之妙。則庶幾乎其得英政之要也。兄用意深切。可謂英國憲法之老劍法家矣。若夫微侯縱橫之辯。奇警之辭。譯述的確。一字不苟。精采氣魄。冉冉逼人者。世自有定評。何待余言哉。

辱友 藤田鳴鶴妄批

古來起於微賤而登顯職者。雖不少。而唯據筆舌之力。至爲首相。余未嘗聞之也。古來開爭與名士角實力者。雖不少。而以其論爭供現頭角之具。余未嘗聞之也。且古來懷百折不撓之志。經幾艱難不變其志者。雖不乏。而每當失敗。愈信其志之必成時之必遇。終能履行其言。余尤未嘗聞之也。近觀於通氏而得其人焉。余嘗讀通氏傳。深歎其持躬行事之奇且壯矣。今余友尾崎行雄君所著經世偉勳一書。則記通氏之

行狀功業尤詳者也。其文暢其意周其跡極。使
讀者開卷如見其人。吾知此書一出將有振頽
起懦之功。裨益風化不少。洛陽紙貴猶其餘事
耳。故綴數言附於驥後。

城陽

加藤政之助拜識

天下制度莫善於立憲。立憲制度莫善於英國
也。社友尾崎君學堂。留心政治之學。尤喜英國
制度。苟著書之可資其學者。無不譯而問世焉。
頃又著微侯傳。題曰經世偉勳。使余評之。意謂
我國憲法之制定已在近。而三千年來久安君
主專制之下。舊慣積習。未易遽除。今日之務。在
使人民識憲法之要而已。然近代譯書。不卑雜
則艱澁。或可以悅學士之目。未可以入村民市
人之耳也。故假微侯傳以詳說憲法之作用。或

推行事而明之。或借言論而精之。以平易之文。寫雄快之人。間雜滑稽戲謔之語。以使讀者容易領英政之本相而不生倦心也。余知此書一出。其有裨益於世大矣。唯恨余將有海外觀光之行。束裝期逼。不能熟讀細玩。多負君之高囑也。抑英國徵侯之鄉。雖其人已逝。當時上下議論。角逐一場者。具氏在焉。現任大宰相。一國推為泰斗。余到其地。接其人。觀察行事。聞言論。必知多所發明也。他日歸而補評此書。不亦一段

快事乎。君幸待之。時明治十九年四月中浣。海外航行之前三日。記於東京駿臺之客寓百花爛漫處。

韜庵 吉田熹六謹志

區々一個人之傳耳。而有足以充一世之政史者。吁嗟微君神德侯經歷之偉可知矣。予嘗繹其出身之跡。有所深感焉。夫北美聯邦者民主之國也。固係獨立不羈之徒。四方鳩集而所創建。所謂王侯無種。兆民同權。曾不以貴賤貧富爲差也。是以起而爲大統領者。有農夫。有鋸匠。有縫工。不足爲異。然世猶稱若遜麟格倫戎遜諸氏爲異數。若夫英國則不然。因習爲風。循舊爲俗。貴賤貧富之別。劃然分割。而問其種族宗

教之異同。尤有甚焉。故非有門戶之貴資產之裕。而承耶穌教徒之裔者。則不容列名門伍貴紳。矧起閭閻而爲大宰相乎。然而微侯則一閑學子。而其先出於猶太教徒。無有門戶資產。是因習循舊國之尤所侮蔑。且猶太教徒英人舉所不齒者也。故微侯少時慨然有微尾暗具禮之著。以聳動一世。然人猶莫知其著者爲何氏。又孰知卷中才子稱微尾暗具禮者是著者所自擬乎。然微侯胸次既期英國首相。渺々一身

提寸管掉隻舌。傲然投于政海。鬪狂瀾逞怒濤。以百折不撓之精神。終貫其初志。身繫英國之休戚。豈亦拘門資率族教哉。是以史家欲下筆而叙微侯之經歷。輒至不知不識。成一世之政史。可不謂偉矣乎。西人評侯曰。自作之豪傑。決非濫譽也。今讀學堂所著經世偉勳。舊感加新。乃書而贈之。且將問何人爲當年之微君。裨德侯也。

青洲 箕浦勝人拜讀

經世偉勳に關する東京新聞の批評摘録

○朝野新聞 經世偉勳は英國近代の大政治家ビコンスフールド侯の政事世界に於ける經歷を詳細に記述したる者にて侯が内治上外交上の政界は勿論政黨競争の上にも用たる方策に至るまで事として記せざるなく記することて奇なりたるもの殊に著者の主意は讀者をして此面白き傳記を讀過するの間に於て知らず識らず英國議院制の沿革利病を會得せしむるにあるを以て其事の憲法制度に係る者たる毎に勉て平易の文章を以て之を解説を加たりは此書に稱して英國近世の議院史と云ふ不可なきに似たり云々

○毎日新聞 本題の新著は英國近世の大政治家と聞へたるビコンスフールド侯の傳にして其文は小説の体を用ひ其事は悉く史上の眞を記せり故に其文を娛讀する者覺へず史上の事實に通ずるを得べし蓋し侯の業は英國近世の大事に關せざる者なくして其長技又外交に在るが故に間接には全歐の大事に關するを以て其傳を讀む者は唯英國の近事を知るに止まらざるべし且侯の演説を記事の間に挿入して其雄辯を寫したるは尤も讀者の心目を快ならしむる者なり此作者は報知社の尾崎行雄氏にして其社友藤田箕浦加藤諸氏の評語を欄外に掲げ序文は大隈君の筆に係る云々

○日新新聞 經世偉勳は尾崎行雄氏の著にして故英國大宰相微侯ビコンスフールド侯の政治上に關する實傳を序述したるものなり其第一章は「少年小説を著して俄に主名を博す」と云ふより第八章「日夜政府を論難攻撃して名譽益々高し」と云ふるに筆を擡きて前編の終結とせり二讀以て侯の偉勳を知り歐洲近世政治上社會上の状態を知るに足るべし云々

○時事新報 經世偉勳前編一冊は小川町の集成社より發見す此書は英國近代の大政治家ビコンスフールド侯の傳記を本として併て英國の内治外交及び歐洲全般の形勢を記述したるものにて其体裁は紀傳本家の一種なる

伯が幼時の來歴より大宰相の位に昇りて威權全歐に轟きたる迄の偉業鴻績を面白き小説体の文に纏り做し其の形は稗史にして其語讀の樂が多し其實は正史にして諸國の利益紛ならずと評すも可なり又た一步を進むれば之を英國最近五十年間の政治史として見るも差支へ無かるべきなり云々

○**報知新聞** 先哲云へるあり凡そ讀書の樂は英雄豪傑の言行を讀むに過くるはなしと今も英國前の大宰相ピエコンスフイルド侯は當時ピスマーグ公と稱を斷て並馳せる不世出の英傑にして其政權を掌握するに方では内には君主と人民との信任を得て其意一として行はれざるはなく外には列國政治家の畏敬する所と爲て歐米三尺の兒童も尙ほ其盛名を知らざるはなかり然るに其出所を尋ねれば歐米人の爲めに睡棄せられ穢多非人同様の扱を受る所の猶太教徒の子にして資産も裕かならざる一寒生のみ故に少年の頃よりして既に異常の大志雄譽を抱き或は詩文を以て風流社會に侵入せんとし或は雄辯長舌を擲て國會議員たりんとし或は決闘狀を各士に贈て世上の耳目を聳動せんとし或は激論を唱へ或は情史を著し或は奇異の服裝を爲し各を費り譽を衝ふの術に於て盡さざる所なく其の言行者を人の意表に出てたりと雖も尙ほ志を得る能はざりしが百折不撓の精神を以て狂瀾怒濤と闘ひ遂に大臣の權位に上るとを得たり今も此書經世偉勳は筆を微侯が神出鬼没奇異非常なる言行に藉て英國制度の實情と歐洲列國最近五十年間の内治外交政策とを詳記し交ゆるに諸豪傑の妙劇巧詠沈痛壯麗なる演説を以てせる者なれば一讀して歐洲列國の近勢英國制度實際の運用及び近世諸豪傑の人と爲りを詳かにするを得べし云々

○**讀賣新聞** 學堂尾崎行雄氏が著はされし經世偉勳前編一冊は此編神田小川町の集成社より發兌されしが之を一讀するにピエコンスフイルド侯が不世出の英才を以て文壇の上は馳騁し英國人中最も昇るゝ猶太人種より出で英國人中最も榮耀なる大宰相の權位に登りし傳記を委しく叙述したるうへ英國議院制の妙味を知りし議院のうちに得る事あるの良書なり殊に大隈君の序、藤田末廣大審判官加藤吉田諸氏の評語を欄外に掲げられたるは錦の上に花を添ふるものと云ふべし云々

○**今日新聞** 經世偉勳は英國近世の大政治家ピエコンスフイルド侯が政治海の激浪狂瀾を凌ぎ百折纒まず遂に一介の書生より起て大宰相に陞り人臣の榮を極めたる侯が一代の經歷を叙したるものにて其前編は千八百五十八年侯がアルビー侯第二次の内閣に入て出納院長に任せられたるを以て筆を擱きたるが侯が内治外交の政策又た侯が言行の奇異痛快なる等を叙述し讀者をして拍案稱稱せしむるの際に英國議院制の利福を明かにし善美なる英政の眞面目を覺らしめ眞に英國近代の政治史とも云へべき良書也云々

○**繪入自由新聞** 尾崎行雄氏が近來の著譯に係る經世偉勳は英國近代の大政治家スレリー君の政治上に關する經歷を叙述したる者にて行文平易事實快絶一讀以て君の爲人を知り二讀以て英國政治上の有様を知り三讀以て讀者の政治思想を喚起し且其心目を爽快ならしむるに足る必讀有用の一大快書なり云々

○**改進黨新聞** 學堂尾崎先生の近著に係る經世偉勳の前編刊行す文辭流暢婉轉敘事精確明晰立論最も正緒たり起伏格を備へ豪宕波瀾一讀驚を喚す滿卷花綺絳綴燦爛として眼を眩し赫焔として魂を消し餘韻幽々無數の迷鬼を藏めて其中に在り實に近世の泰鏡と謂んも致て過くるに有らざる可し卷を踏きて之を讀むに其叙する所は普相ピスマルク露宰ゴルチャコフと相對峙して世界の鼎俦と稱せられたる故英國内閣總理大臣ピエコンスフイルド侯が英人の侮蔑する猶ほ我國機多の如き猶太教徒の子孫に起り詩歌稗説を藉て風流才子を凌ぎ直論諷議を以て貴公子と闘ひ或は濶達或は壯烈或は優雅或は勇猛神出鬼没の言行を以て遂に大英の首相と爲り赫灼の名聲を寰宇に轟したる爽快雄偉の美蹟に基き天下無比の制度たる英國政治實際の運行と最近五十年間に於ける歐洲列國の形勢とを詳述せるものなり書中往々不世出の名士が議院に於て互に論難計駁せる烈火の攻撃を掲げて驚天動地の演説を挿入せり英憲法を攻究し議院演説を論留し内治外交の異議を叩くに適して我邦將來の好材料と爲るべく諸論變幻風猛花落たる清韵逸美雨和草勃たるは稀有の小説を以て見るべく巧妙の詞章は名家の詩文に近く快渡の雄辯は戰國の策士に比するを得べし加るに大隈公の序藤田箕浦等の諸君が額評總批ありて充分其鑿を穿つ特に微侯が風

諸社會に散居して美少年の名を轟したる時代の肖像と既に志を得たる老練の肖像とを加へて其風采を示されたれば宛然咫尺感喉に接するの想あり云々

○明治協會雜誌 經世偉勳は會員尾崎行雄君が英國近世の大政治家と聞へたる徵侯一代の内治外交政策を記述し問々挿むに英國憲法の要義を以てし讀下の際人をして歐洲政治家の眞情を知り且以て英國憲法の眞面目を領さしむるの意に成るものにて蓋し近日君が得意の作ならん乎今や前篇刻成り一巻を惠まる因て其中に就き左に大隈公本編に序せらるゝの文を掲ぐ編中巧妙可喜演説は他日更に掲げて諸君の一覽に供ふべし云々

○東京經濟雜誌初評 經世偉勳は報知社尾崎君の新著にして英國故徵侯の詳傳を記載したるものなり夫れ侯の世に在るや英國の政事を左右しグラッドストーン氏の才識を以てするも殆んど數する能はざりき抑も英國の政制は他の立憲國の模範にして而て其精の精なるは實に侯の時にありとす故に此書を読む者は以て侯の事業の爽快を知り且つ英國政制の如何を詳知するを得べきなり云々

同再評 先きに經世偉勳に付て少しく批評を下したりしが今其全文を通讀したれば茲に再ひ之を論評すべし蓋し經世偉勳は近日の著書中に於て最も面白く且つ利益あるもの、一なりと評すべし大凡そ世人の著譯する所を見れば以て其人の期望する所を知るを得べし風流の氣を養はんとするもの糊口の資を得んと欲するもの社會の有様を改良せんと欲するもの名望を世に博せんと欲するもの皆著譯する所あり而て其書の性質皆異なる者なり今尾崎氏の經世偉勳を著し英國の故宰相徵侯の言行を記するを見るに其自任する所甚だ大にして深く英制の事情を究め政事家の言行を學ばんと欲するの餘此著ありしを知るべし是れ即ち其書の尋常の書と異なる所以なり嘗て記す尾崎行雄氏東京府會に在り常置委員の議決を評して彌次郎喜多八の方案なりと云ひしを然るに今此經世偉勳を見るにデズレトリ氏も亦た嘗て政府を評してポツプキンの方案なりと云ひしを然るに今此經世十四丁を見よ其解に滑稽人物猶ほ我國にて彌次郎北八と云ふか如し依て思ふに當時氏は方に此邊を著述中にて

ありしならん然らば則ち他日氏が國會議場にて雄辯を揮はるゝに當りては經世偉勳中に記せる言語を聞かんとは數々なるべしと豫め想像せらるゝとなり尨に角に我邦人中にて眞正の政事家の言行に注意し且つ國家の政制に注目するもの極めて稀なるに氏の如きありて早く之を採求し且つ自ら之を演せんとせらるゝは好みすべきこと云ふべき也云々

○中央學術雜誌初評有名なる尾崎行雄氏の編述に係る經世偉勳の前編は小川町集成社より發兌したり此書行文優にして事蹟華やかなり全部粹に上らば永く有志の寶典となるや疑を容れず云々

同再評 尾崎行雄氏の編まれたる經世偉勳は普ランシス、肥ツチマンが著せし「肩イコンスフヒキールド伯の公傳」といへる書に専ら據られたるが如くなれども原書の繁雜なるを省き偏頗なるを正されたれば一層の興味を増せるが如く且文章淡泊にして而かも無味ならず眞に良書とたゞへつべし按するに彼の肥ツチマンといへる男は肩イコンスフヒキールド伯と深交なしと明言するに拘らず徹頭徹尾伯を賞賛して毫も其瑕瑾を吾人に傳へず支那流の傳ならばいざ知らず西洋政治家の傳としては毫末價値なき物を出板したりこの男の如きは彼の所謂 *Paragon of Gracians* を病みて愈えざる人なる哉今尾崎氏が眉公の傳を編まれたるを觀るに事實は専ら肥ツチマンの書に據れるも過賞の辭は勉めて之を避け暗に其騙術を示したる所亦之ありと覺へたり夫れ眉公は蓋世の英雄にして拔群の政治家なること吾れ人ともに之を識る然れどもうの布衣より起りて大國の宰相と仰がるゝに至るまで「てれん、手管」のくさくさを行へること吾れ人ともに知る所なり蓋し細理あらざんば大功は成り難し眉公の細理を掩ふて后世に傳へざるは眉公の志にはあらざるべし「我れの如くに我れを畫げ」とは嘗に若ロムウエルの志望なるのみにあらざるなり

凡る傳には二種類あり一を慕ズウエル流の傳と爲し他を麻コオレエ流の傳と爲す慕ズウエル流の傳とは何ガヤ慕ズウオエルの慕ヨンソンの傳を編めるが如く其人の一言一行漏さず之を網羅して以て眞面目を傳ふるを主とし編

者の評論に憑らず其人の言行に依りて以て其人と爲りを示すをいふなり麻コオレエ流の傳とは何ぞや其人の事業を序で併に之を批評して其人と爲りを示すをいふなり尾崎氏が編述されたる經世偉勲といへる書はこの二種の何れにありや惟ふに氏は眉公の私傳を編まずして公傳を編まれたるなり故に慕ズウエルの流素とより之を效ふを得ず尾崎氏の經世偉勲は麻コオレエ流の傳にして評論を省けるものなり蓋し麻コオレエの麻コオレエたる所以は評論あるが爲なるべし經世偉勲の經世偉勲たる所以は評論無きが爲なるか

尾崎氏は眉イコンスフヒールド公の傳を假りて議院政治の實際を讀者に示す所あらんとせりこれを稱して *Support Coating* の法といふ蓋し「ころも掛け」の謂なり金言耳よ逆ひ其藥口に苦さが故に之を「ころも掛け」にして味ふに易からしむこの書を讀むもの眉イコンスフキールドの伯と、にも撰學會に失敗し伯と、にも議院に出で伯と、にも内閣に入り伯と、にも反對に立ち伯と、にも議院を解散し伯と、にも内閣を願遂して議らざらず議院政治の活動に熟練するに至るべし而して此書を讀むものは英國の議院制度に暗機應變の妙所あるを特に悟らざる可らず即ち治世には治世の能臣あり亂世には亂世の英雄ありて能く國を治め天下を平かにする所以を悟らざる可らずなり夫れ人能あり不能あり曹孟徳にあらざるよりは治世に能にして亂世に雄なる能はざるべし故に治世には治世の宰相ありて國を治め亂世には亂世の宰相ありて國を治るを要すること勿論なりと雖も專制主義の國は暫らく措き米國の如き行政官に在職の年限ある制度は能くこの目的を達する能はず彼の英國の制度は然らず議院の力能く内閣を更迭せしめ年限の長短を問はざるを以て國亂るれば亂世に適するの政治家必らず推選せられ國治まれば治世に適するの政治家推選せらる惟ふに智ヤムサ公巴[○]ルマアストオン公の如きは素と亂世の政治家にして最も外交に長じ少稗ツト、佐ル呂バルト肥[○]ールの如きは治世の政治家にして最も財政に長ぜり此二種の政治家も勢力を得て英國をして恒に國富み兵強からしめ終に眉イコンスフヒールド公と虞ラッドストオン氏と相駢んで出るに及び英國をして一時代に能臣と英雄とを併せ有するの幸福を得せしめたり眉公敢て財政に疎きにあらざると雖も其長

ずる所は外交にあり虞氏敢て外交に熟せざるに非ざると雖も其得意とする所は財政にあり英國の制度の美能く眉公の放膽豪邁の政畧と虞氏の正確周密の政策とを併せ容れ之を利用して民福を増し國威を輝すに至りたり尾崎氏の眉イコンスフヒールド公の傳を編むや能く公の舉動に據りて英國の制度を解釋し遺憾なからしめたりと雖も希くは早く虞氏の傳を編んで併せて之を梓に上されんことを蓋し眉公の傳ありて虞氏の傳無くんば讀者をして鏗察孤獨の想あらしむ可きを以てなり云々

集成社發兌書目

英領カナダ議院書記官トッド著
尾崎行雄譯

○英國議院政治總論 合卷

定價金四拾五錢
減價金貳拾貳錢五厘

右は英國議院政治の起原沿革を詳述したる書なり

○英國王權政府諸會議篇 合卷

定價金四拾錢
減價金貳拾錢

我が舊制の太政官と云ひ新制の宮中顧問官と云ひ皆な英の樞密院に似たる所極めて多ければ世人此書を讀んで彼我の優劣を知るへし

○英國內閣執政篇

定價金壹圓四拾五錢
減價金七拾貳錢五厘

右は英國內閣の組織、職權、諸大臣の關係、其政務執行法の實況、及び分裂抗爭調和の實例と詳説したる者なり

○英國王權篇一

定價金壹圓拾錢

○英國王權篇二

減價金五拾五錢
實價金七拾八錢

右は英國皇帝の威權、勢力、行政權、立法權、其内閣大臣に對する關係、百官有司と總統せらるゝの實狀、歲出入の整理法、及び司法、軍務、外交等に關する皇權を詳説したる者なり

尾崎行雄著

○尚武論

洋本全一冊 定價金參拾八錢

右は論案を總論、文弊、文徳、武弊、武徳、内勢、外勢、尚武、法策、國家興亡之常勢の十章に分て武の尚まざる可らざる所以を詳論せる者なり

尾崎行雄著

○通俗地租改正私議

洋本全一冊 定價貳拾五錢

右は國家富強の本源は土地に在るが故苟も國家と富強ならしめんと欲せば先づ地租と輕減して土地と保護せざる可らざる所以と今日不

景氣の最大原因は地稅重きに過ぐるに在るなれを不景氣救治の本計先務は地稅と輕減するに在る所以とを平易に論辯したる者なり

米國大學教授ドレーパー著

尾崎行雄譯

○米洲聯邦治安策

洋本全三冊 定價八拾八錢

右は哲學家の冷眼と以て亞米利加合衆國を治安ならしむるの長策と觀查講究したる者にて其物理上の現象と舉て人間社會に適用するに至ては古人未發の議論極めて多し

尾崎行雄著

○泰西名家幼傳

和本全二冊 定價五拾錢

右は歐洲列國に於ける英雄豪傑二十四家の幼年時代の言行を記述せる者にて少年子弟必讀の珍書なり

文學士有賀長雄先生著

○社會進化論

洋裝美本 賣價金壹圓貳拾錢
全一冊 郵稅金參拾八錢

專修學校東京專門學校教科用書

右ハ哲學家ヲ以テ自カラ任シ其名ヲ文學士中ニ博シタル有賀先生ノ著作ニ係リ實ニ社會學ノ第一篇タリ其書タルヤ英國ノ哲學家スベンサ一氏ノ社會學ヲ祖述シ勉メテ事實ノ證左ヲ和漢ニ取リタル者ニシテ此篇ニ於テ先ツ社會ノ何タルヲ説キ其初メテ起ル原因ヲ尋テ進歩シ成熟シテ國家ト稱ス可キ有様ニ達スル次第ヲ論シ既ニ一定ノ國家ト成リタル後チ或ハ衰ヘ或ハ盛ヘ君主專制ヨリ封建ノ世ト爲リ封建破レテ戰國トナリ又合シテ教權ノ世トナリ教權衰テ革命ノ世トナリ法律ノ世トナリ議論ノ世トナリ哲學ノ世トナリ後チ人生始メテ完全ノ有様ニ達スル次第ノ大略ヲ述ヘタル者ナレバコノ社會ニ生レコノ社會ヲ成スモノ宜シク通讀スヘキノ全書ナリ

文學士有賀長雄先生著

○宗教進化論

洋裝美本 賣價金壹圓參拾貳錢
全一冊 郵稅金參拾八錢

專修學校東京專門學校教科用書

右ハ社會學ノ第二篇ニシテ人ニ魂魄アリトノ妄信ノ起原、死者ノ魂魄能ク生者ニ禍福ヲ降ストノ妄信ノ起原、天變地異ハ鬼神ノ所爲ナリトノ妄信ノ起原、葬式、祭禮、堂宇、僧侶、呪咀等ノ起原及ヒ開展、地獄、極樂アリトノ妄信ノ進化、祖先禮拜、偶像禮拜、動物禮拜、植物禮拜、日月山川禮拜、一神禮拜等ノ起原及ヒ變遷ヲ論シ形以上ノ教理ノ由テ起ル次第ヲ述ベ政治ト教法トノ初メハ唯一合體ナルヨリ漸々相分離スル次第等ヲ説キタルモノナレバ宗教家ハ言ヲ待タズ世ノ政治ニ從事スル者理學ヲ講スルモノ皆チ共ニ必讀スヘキノ奇書ナリ

文學士有賀長雄先生著

○族制進化論

洋裝美本 賣價金八拾錢
全一冊 郵稅金貳拾七錢

專修學校東京專門學校教科用書

右ハ社會學ノ第三篇ニシテ異族相婚及ヒ同族相婚ノ原因及ヒ其結果ヲ述ベ男女離婚一妻多夫一夫多妻一夫一妻等ノ習慣ノ起原及ヒ其幼兒ノ養育上ニ及ホス所ノ影響ヲ論シ總テ斯ル習慣ノ人口ノ増減人民ノ強弱男女ノ職業等ニ關係スル所以ヲ論シ家族編制ノ社會ト共ニ變化スル次第及ヒ其社會ノ進化ニ關係スル所以ヲ陳ベ父子兄弟ノ倫序ノ沿革及ヒ影響ヲ論スルモノナレバ家々人々一讀セサルヘカラサルノ良書ナリ

東洋學人小野梓先生著

○國 憲 汎 論

東京專門學校教科用書

假裝分本 賣價各金壹圓
全三冊 郵税金貳拾五錢

此書ハ博學多才壯年有爲ノ政事家ヲ以テ其名聲ヲ近時ニ轟シタル小野梓先生ノ新著ニシテ明治九年筆ヲ下シテ以來七ヶ年ノ久シキヲ繼テ始メテ落成シ通篇四十餘章ノ多キニ至リ廣ク英米佛諸大家ノ論說ヲ集録シ通ク宇内各土ノ憲法ヲ類從シ其得失ヲ斷スルニ先生平

生ノ持説ヲ以テシ之ニ挿ムニ本邦古今ノ典故ヲ以テセルモノナレバ其國憲ノ要目ニ於ケル細大論シ盡シテ殆ント漏ス所ナク實ニ新主義東漸以來未曾有ノ大著述ナリ今也國會開設ノ期既ニ定マリ國憲編成ノ期將サニ近キニアラントス天下ノ志士ニシテ苟モ其意ヲ政治ニ注クモノ宜シク坐右ニ備フ可キ最大良書ナリ

文學士高田早苗先生著

○貨 幣 新 論

東京專門學校教科用書

洋裝美本 賣價金壹圓貳拾錢
全一冊 郵税金參拾貳錢

右ハ政治學ヲ實際ニ應用セント欲シ多年大學ノ講究ヲ積ミ才學ヲ以テ其名ヲ得タル高田先生ノ新著ニ係リ篇ヲ上中下ノ三ツニ分チ具サニ金銀貨紙幣ノユト及ヒ手形ノ事ヲ通論シ周ク和漢歐米ノ實例ヲ舉ケ之ヲ理論ニ參照シ周到緻密實ニ貨幣論ノ粹タリ今也紙幣改良ノ事天下ノ一大問題ト爲リ人々貨幣ノ原理ヲ講ス可キノ時ニ際シケレバ此書ノ成ル頗ル世ニ裨益アリ實ニ志士必讀ノ書ナリ

法學士山田喜之助先生譯註

○麟氏英國會社法

洋裝美本 賣價金壹圓四錢
全一冊 郵税金貳拾八錢

東京法學校東京專門學校教科用書

右ハ法律ノ學ヲ實際ニ應用セント欲シ積年ノ苦ヲ大學ニ積ミ才學ヲ以テ其名ヲ法學士中ニ得タル山田先生ノ譯本ニ係リ實ニ法律博士リントレー氏ノ組合法及ヒ會社法ヲ基トシ他ノ善書ヲ纂譯補註セシモノナレバ組合法會社法ノ精粹ヲ集メタルモノト謂フヘク其ノ法學ニ切ナル多辯ヲ要セサルモノナリ

文學士坪内雄藏先生譯

○談 撒 奇 談

洋裝美本 賣價金壹圓貳拾錢
全一冊 郵税金貳拾八錢

一名自由の太刀最後の鏡鋒

右ハ文學ヲ以テ其名ヲ近時ニ博シタル坪内先生カセツクスゼヤ一氏ノ院本ニ就キ空前絶後ノ世評ヲ得タル(シユリオス、シーサル)ノ段ヲ

本邦ノ淨瑠璃體ニ譯シタルモノニシテ其文章ノ優美ナル殆ント原文ニ譲ラス又仕組ノ世ニ裨益アルハ既ニ世人ノ知ル所ナレハ快樂ト實益トヲ同時ニ併セ得ヘキ近代希有ノ珍本ナリ

法學士砂川雄峻先生纂著

○英 米 契 約 法

洋裝美本全二冊 賣價金八拾錢
上卷一冊出版 郵税金貳拾四錢

東京法學校東京專門學校教科用書

右ハ法學博洽ノ名ヲ以テ其業ヲ大學ニ卒ヘ法學士中ニ望アル砂川先生ノ纂著ニ係リ廣ク英米ノ諸著ヲ參照シ極メテ明亮ニ契約ノ諸法ヲ説キ一々其的例ヲ示シタルモノナレバ心ヲ法律ノ學ニ寄セ事ニ代言ニ從フモノハ坐右欠ク可カラサルノ全書ナリ英米ノ契約法其譯書ナキニ非ス然レモ此書ノ明亮ニシテ完全ナルニ若カサルナリ

東洋學人小野梓先生著

○民 法 之 骨

假裝美本全三冊 賣價金六拾四錢
上卷一冊出版 郵税金拾八錢

右ハ民法ノ骨髓タルヘキ要項ニ付キ一々泰西諸名家ノ理論ト羅瑪

佛、和、英、米等ノ成法ヲ類從シ其得失ヲ斷スルニ先生ノ持説ヲ以テ
シ挿ムニ大寶令式目令條及ヒ本邦ノ古慣ヲ以テセルモノナレハ其民
法ノ要目ニ於ケル殆ント論シ盡セリト謂フ可シ今也政府民法ノ編纂
ニ從事シ法律世界ノ諸士ハ首ヲ引テ其成効ヲ待ツノ時ナレハ此書モ
亦タ大ニ世ニ補フ所アルヘシ天下ノ志士宜シク通讀ス可キナリ

東洋學人小野梓先生著

○東洋論策

袖珍假裝 賣價金參拾貳錢
第一冊 郵稅金六錢

右ハ小野先生ノ政談又ハ論文ニ就キ其最モ有益ナルモノヲ編次シ冊
ヲ進テ之ヲ刊行スルモノニシテ其第一冊ハ先生カ幣制、外交、郵便、輸
入減少、教育ノ五日ニ就キ其長饒舌ヲ振ヒタル得意ノ五大演説ヲ編
成セシモノナレバ唯リ議論ヲ讀ンテ其益ヲ得ルノ便アルノミナラス
又タ無テ演説政談ノ軌範ト爲スニ足ルノ珍本ナリ

文學士井上哲次郎 兩先生合著

○改正 哲學字彙

第二版 全一冊 改正賣價金六拾錢
洋裝美本 郵稅金貳拾六錢

右ハ嘗テ東京大學ニ於テ哲學上ノ譯語ヲ一定センガ爲メニ印行セシ
哲學字彙ヲ増補訂正セシモノニシテ哲學上ノ譯語ハ一切網羅シテ遺
スナキモノナレハ英語ニ於テ泰西ノ哲理ヲ講セント欲スル者ハ須
史モ離スベカラザルノ善本ナリ加フルニ再版ハ梵漢對譯佛法語叢等
ヲ録附シ之ヲ第一版ニ比スレバ更ニ完備シタル所ヨリ唯惜ムラクハ
價廉ナラザルガ爲メニ大ニ購求者諸君ヲ困メ常ニ遺憾ニ堪ヘザリシ
ガ今ヤ既ニ賣捌タル部數モ數千部ノ上ニ過ギ弊社ノ利益スル所亦尠
少ナリトセズ依テ今般從前ノ定價壹圓ナルモノヲ賣直金六拾錢ニ引
下ケ庶クハ是迄該書渴望ノ欲ヲ満足セシムル能ハザリシ學者諸君ノ
便益ヲ圖ラントス陸續御購求アランコトヲ乞フ

三洲長茂先生題字
長春園廣瀨貞恒先生遺著

○小説 第四冊第五冊續刊

全五冊

第一冊二付改正定價參拾錢
第三冊十九年五月出版

此書ハ文政年間豊後日田郡ニ於テ成宜園ナル一大義塾ヲ開キ廣ク諸
生ヲ教授シテ博學ノ聞ヘ高ク最モ詩ノ道ニ精シク門下常ニ俊英ノ士
ニ饒ナルヲ以テ雷名ヲ天下ニ轟シタル廣瀨淡窓先生ノ父君長春園先
生カ深ク時勢ニ慨スル所アリテ起草シタルモノニ係リ事實ヲ天正年
間ノ一奇談ニ藉テ數十年來物ニ觸レ事ニ感シ先生ノ腦裏ニ蓄積シタ
ル萬般ノ事或ハ不平ニ堪ヘザル者或ハ驚喜ヲ極メタル者ヲ英雄豪傑
才子佳人ノ言行中ニ顯出シタル者ニシテ其趣向ハ和ヲ出テ漢ニ入リ
更ニ頗ル西洋ノ小説ニ似タル所アリ實ニ我日本ニ在テハ古來今往稀
ニ見ル所ノ珍書ナリ曩ニ第一冊第二冊ハ刷行シテ大ニ世ニ行レタリ
ト雖モ版元ノ書肆他事ニ耽テ其業ヲ果サズ今般弊社ニ於テ其原稿并
ニ在本ヲ讓受ケ茲ニ第三冊ヲ出版スル事ヲ得タリ第四冊第五冊モ續

テ開版シ兩三月ヲ期シテ必ラス大成ノ功ヲ奏スベシ續々御購求アラ
ンコトヲ乞フ

齊武經國美談	前編後	矢野文雄纂譯補述	定價金貳圓三拾錢
名士經國美談	初二編	藤田茂吉合譯	同金壹圓三拾五錢
嘲俗繫思談	出版	尾崎庸夫	同金壹圓三拾八錢
文明東漸史	全一冊	藤田茂吉著	同金壹圓三拾八錢
日文體文字新論	全一冊	矢野文雄著	同金八拾五錢
通地租改正私議	全一冊	尾崎行雄著	同金貳拾五錢
學理汎論	全一冊	林包明著	同金四拾錢
佳人之奇遇	四冊	柴四朗著	同金壹圓三拾錢
圭經濟學	二冊	犬養毅譯	同金壹圓七拾錢

日本帝國形勢總覽 全一冊 細川廣世編 同金壹圓七拾五錢

明治政覽 全一冊 同 同金壹圓五拾錢

新定內閣政規 全一冊 同 同金貳拾五錢

日本食志 全一冊 小鹿島果纂著 同金壹圓七拾五錢

葡萄栽培新書 全一冊 桂 二郎著 賣價金五拾錢

文部省御藏版圖書ノ部

思想之法 全一冊 鈴木唯一譯 定價金七拾五錢

脩身原論 全一冊 河津祐之譯 同 金六拾九錢

國家生理學 二冊 出版 文部省翻譯 同金壹圓六拾九錢

主權論 全一冊 同 同金三拾錢

諸氏材力論 全一冊 瓜生寅譯 同金六拾壹錢九厘

蘭均氏土木學 全貳冊 水野行敏譯 同金壹圓七拾八錢

代微積全書 全二冊 山本信實編 同金九拾六錢

查微分積分學 一卷 上冊 岡本錄譯 同金八拾六錢

靜重學 全一冊 肝付兼行譯 同金三拾錢

豪氏法學講義節約 全二冊 大島貞益譯 同金壹圓拾四錢

涅氏冶金學 上卷附圖 河野毓雄 筆記 同金貳圓五拾七錢

戎氏農業化學 全二冊 片山速平譯 同金壹圓九拾六錢

植物生育論 全一冊 高山甚太郎 譯 同金壹圓三拾七錢

蘭均氏漁機學 附圖共 永井久一郎譯 同金三圓三拾三錢

扶氏藥劑學 全四冊 柴田承桂譯 同金五圓九拾五錢

維氏美學 全二冊 中江篤助譯 同金壹圓六錢

小學普通畫學本 全四冊 宮本三平編 同金壹圓四拾四錢

理化小辭 全一冊 宇田川準一校 同金貳拾錢

其他御藏版ノ圖書委託販賣仕候

集成社發兌書目終

13

13

南海浪
方知場不旺

法律資料第一課
29.10.29
調查立法考查局



312.33

0982k

027765-000-8

312.33-0982k

經世偉勲 前編

尾崎 行雄/著

M19

BAA-0169

